



演題 へ特別講演

プログラム

会長挨拶

一 蘭医、長崎浩斎の年譜記録……寺畑 喜朔(金沢市)

二 金沢初の私立病院

「集誠病院」について……多留 淳文(金沢市)

三 加越能文庫(文書)にみられる

医事史料、黒川良安関係史料……正橋 剛二(富山市)

四 金沢大学医学部解剖学教室

歴代教授の墓所と遺族……中村 俊雄(金沢市)

五 明治初期の衛生学書……橋本 和夫(金沢市)

六 皮膚科学者……土肥章司……長門谷洋治(豊中市)

七 草深甚四郎の伝記に記された「血留の法」と

アンブロアス・パレの外科書に見られる

「間接的皮膚縫合術」の伝来をうかがわせる

「金瘡書」について……加藤 豊明(金沢市)

八 『枕草子』の中の医学……白崎昭一郎(福井市)

九 白穂和尚著「夜船閑話」

巻上の紹介……加藤 豊明(金沢市)

特別講演

大野藩の医学……岩治 勇一(評議員)

例会記録

四月例会 平成三年四月二十七日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 アンブロアス・パレ像の作者ダヴィッド・ダンジエーと 大村 敏郎

一 『紅夷外科宗伝』等の金創跌撲図への、十七世紀ドイツ 蒲原 宏

外科書 Armentarium Chirurgicum の投影 唐沢 信安

一 済生学舎廃校後の私立医学校の流れ

六月例会 平成三年六月二十二日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 フロレントス・ナイチンゲールミュージアムの活動の 山根 信子

一端 我部 正彦

一 三浦環と主治医三浦謙之助 吉元 昭治

一 『金瓶梅』にみる中国医学と道教

例会抄録

木簡にみられる「医史学」的記述について

千葉県立中央博物館歴史科 樋口誠太郎

一、はじめに

木簡というと藤原京や平城京から発掘されたものだけと思われるが、次の表1に示した如く戦前から、しかもかなり広範囲から出土している。しかも木簡は古代から中世までかな